平成 30 年度第 1 回千葉県経済農政局指定管理者選定評価委員会農政部会

会 議 録

- 1 日 時：平成 30 年 6 月 27 日（水）午後 1 時 30 分～午後 4 時 09 分
- 2 会 場：議会棟 第 4 委員会室
- 3 出席者：
  - (1) 委員
大原明保委員（部会長）、河合謹爾委員（副部会長）、善積康夫委員、加藤邦博委員、宗近功委員
  - (2) 事務局
今井経済農政局長、加瀬農政部長、時田農政センター所長、石出農政課長、圓城寺農業生産振興課長
- 4 議 題
  - (1) 千葉県ふるさと農園における指定管理者年度評価及び総合評価に関する事項について
  - (2) 富田さとにわ耕園（千葉県富田都市農業交流センター）における指定管理者年度評価に関する事項について
  - (3) 下田農業ふれあい館（千葉県下田都市農業交流センター）における指定管理者年度評価に関する事項について
  - (4) 中田やつ耕園（千葉県中田都市農業交流センター）における指定管理者年度評価に関する事項について
  - (5) 千葉県乳牛育成牧場における指定管理者年度評価に関する事項について
- 5 議事の概要：
  - (1) 千葉県ふるさと農園における 29 年度の年度評価及び 28 年度から 29 年度までの総合評価について審議を行った。
  - (2) 富田さとにわ耕園（千葉県富田都市農業交流センター）、下田農業ふれあい館（千葉県下田都市農業交流センター）、中田やつ耕園（千葉県中田都市農業交流センター）、千葉県乳牛育成牧場における 29 年度の年度評価について審議を行った。
- 6 会議経過

【石出農政課長】 それでは、定刻となりましたので始めさせていただきます。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。

本日の司会を務めさせていただきます、農政課長の石出でございます。どうぞよろし

くお願いいたします。

それでは、議事に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。

配付資料は、一部事前に送付させていただいておりますが、まず、次第でございます。それから、席次表、資料1、ふるさと農園評価資料、資料2、富田さとお耕園、資料3、下田農業ふれあい館、資料4、中田やつ耕園、資料5、乳牛育成牧場、それぞれの評価資料でございます。そして、参考資料ですが1、2、3、4でございます。

過不足等ありましたら、お知らせ願います。大丈夫でしょうか。

続きまして、会議の成立についてご報告いたします。

本日の出席委員は、総数5名中5名でございますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第10条第2項により、会議は成立しております。

次に会議の公開及び議事録の作成についてですが、お手元の参考資料1「千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について」により、本日の会議は公開となります。

なお、傍聴のお申し込みはありませんでしたので、ここにご報告させていただきます。

また、議事録につきましては、事務局案に対する部会長の承認により確定することとなっておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは、開催に当たりまして、今井経済農政局長より一言ご挨拶申し上げます。よろしくお願ひします。

【今井経済農政局長】 経済農政局長の今井でございます。委員の皆様におかれましては、ご多忙の中、本部会にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

今年度は、ふるさと農園が指定管理の選定の年度を迎えることとなります。そのほか、農政関係の4つの施設につきまして年度評価を行っていただくこととなります。

委員の皆様方それぞれのご専門の立場から、忌憚のないご意見を頂戴いたしまして、今後の施設の管理運営に反映させていきたいと存じます。

どうぞ慎重なるご審議を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げまして、私のご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願ひいたします。

【石出農政課長】 なお、今井局長につきましては、業務の都合により、ここで退席とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

【今井経済農政局長】 大変申し訳ございません。どうぞよろしくお願ひいたします。

【石出農政課長】 続きまして、事務局の職員を紹介させていただきます。農政部長の加瀬でございます。

【加瀬農政部長】 加瀬でございます。よろしくお願ひいたします。

【石出農政課長】 そのほかの職員につきましては、お手元にお配りしております席次表により紹介にかえさせていただきます。

それでは、議事に入らせていただきます。ここからは大原部会長に議事の進行をお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

【部会長】 ただいまから、平成30年度第1回千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会農政部会を開催いたします。

それでは、まず、本日の議事の流れについて、事務局より説明をお願いいたします。

【石出農政課長】 それでは、本日の議事の流れについてご説明いたします。

本日は議題にございますとおり、ふるさと農園については年度評価及び総合評価の両方をお願いすることとしております。また、富田さとにわ耕園、下田農業ふれあい館、中田やつ耕園、乳牛育成牧場の4施設については、指定期間中につき、年度評価をお願いいたします。

年度評価は今後の管理運営をより適切に行うため、各年度の終了後、市が履行状況を確認し、それを選定評価委員会に報告するとともに、意見を聴取するものであります。

総合評価につきましては、指定期間の最終年度において、過年度の評価結果等を踏まえ、現指定管理者の管理業務を総括するとともに、次期指定管理者選定に向けた意見を聴取するため実施するものでございます。

なお、昨年度は総合評価の際に、評価に関する意見や運営に対する意見をお配りした評価シートに記入していただくという形をとりましたが、今年度より年度評価、総合評価ともに事務局が評価の目安に当てはめ算出した評価（案）や、あらかじめ記入済みの意見（案）をもとに審議していただく形となります。

初めに議題1、ふるさと農園の評価についてですが、事務局から施設の年度評価及び総合評価に係る資料についてご説明いたします。次に、委員の皆様にお諮りし、ご意見をいただいた後、事務局にてあらかじめ記入済みの意見（案）を必要に応じて修正いたします。意見（案）を取りまとめている間は、委員の皆様は休憩となります。そして、事務局にて修正を行った意見（案）をご協議いただき、最終的な部会の意見として決定させていただきます。

なお、評価の変更に関するご意見をいただいた際は、委員の皆様で変更に関してご審議していただきます。

次に、議題2から5の年度評価についてですが、事務局から各施設の年度評価に係る資料について、4施設を続けてご説明いたします。続いて、施設ごとに委員の皆様にお諮りし、質疑応答の後、議題1と同様に、事務局にてあらかじめ記入済みの意見（案）を必要に応じて修正いたします。意見（案）を取りまとめている間は、委員の皆様は休憩となります。そして、事務局にて取りまとめを行った意見（案）をご協議いただき、最終的な部会の意見として決定していただきます。

こちらも評価の変更に関する意見をいただいた際は、委員の皆様で変更に関してご審議いただくこととなっております。

また、この年度評価及び総合評価につきましては、委員会として市に答申していただくとともに、ホームページなどで公表されます。

最後に、今後の審議予定等についてご説明させていただきます。本日は終了となります。対象施設が多く、長時間の審議となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本日の会議の終了時刻は17時ごろを目安とさせていただきます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

【部会長】 それでは、議題1、千葉市ふるさと農園における指定管理者年度評価及び総合評価に関する事項についてに入ります。

事務局より説明をお願いいたします。

【時田農政センター所長】 農政センター所長の時田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。恐れ入ります。座って説明をさせていただきます。

まず、説明に入ります前に、委員の皆様にご覧の5つの施設の資料についてですが、各資料にはインデックスが貼ってございます。それぞれの施設名、例えばふるさとの場合はふるさと1、2といった具合に貼らせていただいております。こちらを説明の中で使わせていただいて、ご案内をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、評価についてですが、ふるさと農園につきましては、指定管理期間が30年度の1年間ですので、29年度の年度評価と28、29年度の総合評価を行います。

申しわけございませんが、説明に入る前に、先日、委員の皆様方に事前送付させていただいた資料について、1カ所訂正がございます。ふるさと7のインデックスを開いていただきますと、その1ページ目ですが、これは事業者から平成29年度の事業報告として上がっているものですが、(2)の「収支状況について」の①指定管理事業収入の上から3行目に、収入は76万1,000円となり、前年より9万3,000円減少したと記載しております。この部分、事前に送付した資料につきましては、収入75万9,000円、前年より9万4,000円の減と記載しております。これは誤記でございますので、訂正をさせていただきます。本日配らせていただいた資料が正のものということでご理解を賜りますようお願いいたします。

それでは、最初に29年度の評価ですが、資料ふるさと1の平成29年度指定管理者年度評価シートをお願いいたします。

1の公の施設の基本情報ですが、施設名称は千葉市ふるさと農園、条例上の設置目的は、農林業に対する市民の理解を深めるとともに、憩いの場を提供することで農林業の振興に寄与することとしております。ビジョン、ミッションについては記載のとおりです。成果指標は利用者数で、数値目標は年間8万7,000人以上でございます。

2の指定管理者の基本情報ですが、指定管理者名は千葉みらい農業協同組合・一般社団法人千葉市園芸協会です。指定期間は平成28年4月1日から30年3月31日までの2年間。選定方法は非公募で、理由は記載のとおりでございます。管理運営費の財源は指定管理料及び利用料金収入でございます。

3の管理運営の成果・実績ですが、平成29年度の利用者数10万141人で、達成率は115.1%となっております。

ページをおめくりいただきまして、2ページをお願いいたします。4の収支状況ですが、平成29年度の実績額のみご説明いたします。

(1)の必須業務収支状況ですが、アの収入は指定管理料4,433万円、利用料金収入76万1,000円、その他収入22万3,000円、合計4,531万4,000円です。イの支出ですが、人件費1,860万7,000円、事務費631万7,000円、管理費443万6,000円、委託費1,309万円、合計4,245万円です。実績と計画の差異の要因ですが、植栽管理の減少などによるものです。

続きまして、隣の3ページをお願いいたします。(2)自主事業収支状況ですが、アの収入は、自主事業収入50万2,000円、イの支出ですが、使用料が2万4,000円、事業費が47万4,000円、合計49万8,000円となっております。(3)収支状況ですが、

必須業務と自主事業をあわせた総収入は4,581万6,000円、総支出は4,294万8,000円、収支は286万8,000円の黒字となっております。5の管理運営状況の評価の(1)から(3)についてですが、これにつきましては、後ほどご説明をさせていただきます。

続きまして、ページをめくっていただいて、4ページをお願いいたします。一番下の部分になりますけれども、(4)選定評価委員会での意見を踏まえた対応ですけれども、概ね事業計画どおりの事業運営が行われている。今後とも適正な施設管理に努められたいというご意見をいただいておりますので、引き続き事業計画どおり事業運営を行うとともに、適正な施設管理に努めたものであります。

続きまして、5ページをお願いいたします。6の利用者ニーズ・満足度等の把握についてですけれども、こちらは記載のとおりでございます。

次に、先ほど飛ばしました管理運営状況の評価の(1)から(3)につきまして、資料ふるさと2というインデックス、A3のものですけれども、こちらの対照一覧表を使ってご説明いたします。

初めに、5の(1)管理運営による成果・実績ですが、利用者数8万7,000人の目標に対し、10万141人の利用がありまして、市の評価をBといたしました。

次に5の(2)市の施設管理経費縮減への寄与につきましては、提案額4,434万4,000円に対して、指定管理料は4,430万円、99.9%となっております、市の評価をCといたしました。

5の(3)管理運営の履行状況ですけれども、各評価項目について、年に2回モニタリングを行った結果を、右側の網かけをしてあるモニタリング項目の確認結果欄に記載してございます。各項目について、モニタリングの確認結果を一覧にしたものでして、評価項目1の市民の平等利用の確保・施設の適正管理につきましては、1ページから2ページの中段にわたりまして評価項目が6項目ございまして、モニタリングの結果は記載のとおり全て○ということになっております。年間点数の平均値がゼロでありますことから、2ページの中段の右側に市の評価を記載してありますけれども、こちらをCとしております。2ページの中段から6ページにわたりまして各項目が続くわけですけれども、これらの項目のモニタリングの評価は全て○で、市の評価も全てCといたしております。

7ページをこのままお願いいたします。7の総括ですけれども、(1)指定管理者による自己評価は総括評価をCとした上で、所見といたしまして、古きよき農村文化の継承をコンセプトに農林業体験教室を開催した。園内を清潔に保つことを心がけた結果、来園者からよい意見を多くいただいた。概ね事業計画どおり実施することができたとされております。

次に(2)市による評価ですが、右側の表をご覧ください。「集計」と書いてあるものです。先ほどの対照一覧表でご説明をさせていただいた市の項目の評価をまとめたものが記載してございます。評価Bが1個、評価Cが8個となりまして、その左側にあります、市による総括評価の目安における評価Cに該当しますので、総括評価をCといたしました。

所見といたしましては、概ね事業計画どおりに実施をされている。教室は募集人数

1,285 人に対して応募人数 1,720 人、これが上回っておりまして、指定管理者が真摯に取り組んでいることが市民に評価されているものと考えられる。清掃や修繕など、施設管理が適切に行われており、利用者からも一定の評価を得ている。以上を踏まえまして、概ね、市が求める水準等に即した、良好な管理運営が行われていると判断できますけれども、自主事業については産直コーナーの運営、あと、年 3 回のイベント開催などに限られておりまして、施設の効用を十分発揮できているとは言いがたいものと考えております。つきましては、次年度以降の指定管理者の公募に際しては、民間のアイデアを生かせるよう、自主事業実施に当たっての施設の自由度を高めることで、農とのふれあいを充実させようと考えてございます。

これらの評価をまとめたものが、資料を戻っていただきますが、ふるさと 1 の指定管理者年度評価シートの 4 ページの (3) 管理運営の履行状況及び、1 枚おめくりいただいて、6 ページの総括になります。

続きまして、このまま 6 ページの一番下の部分ですけれども、経済農政局指定管理者選定評価委員会の意見について、事務局案を記載しております。案といたしましては、利用者からも概ね好評で、事業計画どおりに管理運営が行われている。今後とも適正な施設管理に努められたいとしております。

平成 29 年度の年度評価シートにつきましては以上でございます。

続きまして、総合評価をご説明いたしますので、ふるさと 3 のインデックスをお願いします。

1 の基本情報につきましては、先ほどの年度評価と同様でございますので、説明は省略させていただきます。2 の成果指標等の推移ですけれども、利用者数については、28 年度は 29 年度から約 500 人の増加となっております。

おめくりいただきまして、2 ページをお願いいたします。3 の収支状況の推移ですが、評価対象期間としては、28、29 年度のみですけれども、26、27 年度を参考として記載させていただきます。

3 ページをお願いいたします。4 の管理運営状況の総合評価ですが、4 ページの次の A 3 の資料をお開きいただきたいと思います。これは縦の状態になってはいますが、上段の表については、評価対象年度である 28、29 年度について、各評価項目の年度評価を右側の欄に記載しております。こちらを、A 3 の中ほどの評価項目ごとの評価の目安によりまして、2 年間を通しての評価を出しまして、その後、表の下段に記載してあります総合評価における評価の目安によりまして、総合評価を決めるというものでございます。

まず、1 の成果指標の目標達成についてですが、表の右側に記載のとおり、28、29 年度とも B でありますことから、評価を B としました。2 の市の施設管理経費縮減への寄与から 6 その他までは、平成 28 年度、29 年度とも全て C でございますので、評価を C としました。総合評価については、評価の目安に基づき、C とさせていただきます。

ここで、資料ふるさと 3 の 4 ページをお願いいたします。隣のページです。5 の総合評価を踏まえた検討、(1) 指定管理者制度導入効果の検証ですが、指定管理者が真摯に

事業に取り組んでいたことから、利用者数も堅調に推移し、利用者からも好評を得ていること。施設の老朽化が進んでいるが、不具合箇所は迅速に修繕を行い、また、花壇や植栽が適切に管理されており、清掃も行き届いているため、全体的に景観を保っていること。以上のことから、当初見込んでいた効果を概ね達成できたと考えております。

(2) の指定管理者制度運用における課題・問題点についてですが、さまざまな教室や農業関連の展示等を行ってきたことで、農とのふれあいの機会を提供できたが、更なる充実を図るためには民間企業のアイデアを活用し、自主事業の大幅な拡大が必要であると考えております。

(3) 指定管理者制度継続の検討についてですが、今後も指定管理者制度を継続してまいります。

(4) 経済農政局指定管理者選定評価委員会の意見について、事務局案を記載しております。案といたしまして、適正な施設管理を行い、市民に農とのふれあいの機会を提供できていると言える。その上で更なる農とのふれあいの機会の充実について、その方法を十分に検討されたいとしております。

なお、今後の選定についてですけれども、次回、7月18日の選定評価委員会で募集関係書類の審査をお願いいたしまして、9月28日に指定管理予定候補者の選定をお願いする予定でございますので、よろしくお願いいたします。

ふるさと農園の説明については以上でございます。

【部会長】 ただいまの説明に対しまして、ご質問・ご意見等がありましたら、ご発言をお願いいたしますが、意見につきましては、後ほど部会の意見として取りまとめますことから、意見であることを明確にし、ご発言くださいますよう、ご協力願います。

また、昨年度指定管理者が行った管理運営に対するものは、年度評価における意見として、次期指定管理者選定にかかわるものは総合評価における意見として整理させていただきますので、あらかじめご了承願います。

なお、年度評価シートの4ページ及び6ページの市の評価及び同6ページの委員会の意見、総合評価シートの3ページの市の評価及び4ページの委員会の意見につきましては、今年度よりあらかじめ事務局としての案が記入されておりますが、委員会の意見を踏まえて修正することも可能となっておりますので、ご意見があれば理由を明確にしてご発言ください。

それでは、何かご質問、ご意見等はございますでしょうか。発言よろしく願いいたします。

これまでと若干変わっているというか、ある程度評価の目安というのを数値化したといえますか、可視化したといえますか、そういうことで当てはめていくことによって、委員会で作業するまでもなく、それなりの評価というものが自動的に出る仕組みになりましたので、また、それを踏まえての当委員会の意見の案も事前にご用意いただけるという形に変わりました。

そういうことで、委員会としては数値化されたものの当てはめが正しいのかどうかをチェックすればそれでいいのかなと思いますけれども、これまでの、評価の目安的なものがないときは、評価がどうしても情緒的といいますか抽象的で、何とも言えなかった

ところもあるかと思いますが、逆に今回は目安ができたことで、客観化された反面で、委員会の意見というものが、特にあらかじめ用意していただけるほどに客観化されておりますので、この委員会の役割というのは、逆にそうではないよ、修正もできるんだよ、という意味合いでの意見というものをいただければと思います。

そういうことで、目安に基づく当てはめによって出てきたところの評価、並びに意見に対しての委員会独自の修正ということになるかとは思いますが、独自の意見、ぜひともご発言いただきたいと思います。

【副部会長】 会長、いいですか。

【部会長】 どうぞ。

【副部会長】 今、会長のおっしゃったような意見とは違って、ちょっと最後のことで質問したいと思うんですけども、27年、28年、29年、30年、前のことを見て、記憶で予算と支出の項目を見ていくと、一番著しく減少しているのが光熱費等の部分なんですが、これは27年、28年度と同じような理由で、予算の状態のときと比べて4分の3ぐらいに、25%ぐらい減少しているんですけど、これって理由は前と一緒にしたっけ。

【時田農政センター所長】 これは電気代が若干下がっているような状況です。光熱費の中では電気代。

【副部会長】 電気代をはじめ、全部の項目が下がっていますよね。全部の項目、電気代だけじゃなくて。

【時田農政センター所長】 電気、ガス……。

【副部会長】 全部少し下がっていますね。

【時田農政センター所長】 下がっています。

【副部会長】 著しく下がっているのは何か理由がありましたっけ。

【時田農政センター所長】 いや、電気料金そのものが下がっているのが要因だと思いますが。電気料金そのものが下がっています。

【副部会長】 そのものが下がっているから、ほかのものも、ガス料金も水道も下がる？

【時田農政センター所長】 特別、営業形態、いわゆる、この施設の営業形態を変えたとか、そういうことはございませんので。

【副部会長】 特には聞いていないということですね。

【時田農政センター所長】 ええ、使い方的には変わっていない中で。

【副部会長】 水を使う量がずっと減ってきたとか。

【時田農政センター所長】 それもおそらく、通常の管理をしている中では大幅な変化はないものと思います。

【副部会長】 水の料金が一番減少率が高いですよ。下水道というのは水道料金と比例するわけで。

【時田農政センター所長】 ええ、水道料金と連動です。

【副部会長】 連動しますから、ほんとに当初の予算が大幅に違っていたのか、そうではなくて、やってみたら世の中の状況で減少したのかとか。

【時田農政センター所長】 やってみたら減少したという捉えですね、我々としては。

予算の段階で足りないというのも困りますので、そういった意味では、光熱水費については、足りる分を見込んで予算を積んでおります。

【副会長】 特に理由は伺っていない？

【時田農政センター所長】 そうですね。電気料金そのものが下がっているというお話は聞いています。

【副会長】 これはキロ当たりの電気料金が下がったということですか。

【時田農政センター所長】 キロ当たりの電気料金が下がっています。

【副会長】 そう。いろんなほかの施設を見ても、こんなに下がってはいないんですよ。ふるさと農園というのは特に下がっているのでお聞きしているんですけども。

【時田農政センター所長】 実は、今日ご案内のほかの施設はそれほど大きな建物を持っていませんので、そういう意味では、ふるさとが一番大きなスケールの建物を管理していただいていますので、その関係ではなかろうかと思いますが。

【副会長】 そうですか。

【部長】 よろしいですか。

総合評価シートの指定管理者制度の運用における課題・問題点というところに、資料3のページ4の(2)です。総合評価を踏まえた検討の(2)に課題として、さらなる充実を図るためには、民間企業のアイデアを活用し、自主事業の大幅な拡大が必要であると考えられるという表現、先ほどの発言でもそういう説明をいただきましたけれども、さかのぼってといいますか、資料1の評価シートの1ページですけども、中段の2、指定管理者の基本情報の、指定期間は2年になった、なおかつ非公募理由としてここに、市の見直し方針によって、当該施設の役割について見直す必要があることから、2年間であり方を検討するというところで、この2年が予定されて、なおかつ、この2年が経過することによるところの総合評価といいますか、今後のあり方的なものなんですけれども、おおよそのところなんですけれども、この民間にというか、従来、ずっとここは千葉みらい農業協同組合の事業体でお願いしてきていたわけなんですけれども、何か変更、変化が予定されているんですか。どうなんですか。お願いします。

【時田農政センター所長】 ふるさと農園につきましては、今評価をしていただいている28、29、まずこれを見直しのための期間として、非公募でやらせていただいて、実は現状、この30年度につきましても、単年度、1年限りで見直しのためということで、非公募で同じ団体に指定管理に出しています。この間にあり方を考えるということで非公募を続けているわけですけども、我々としましては、ふるさと農園については比較的都市部にありまして、農とのふれあいという意味では、もう少し活用ができる施設なんではないかと、いわゆるポテンシャルの高い施設ではなかろうかと考えていまして、今回、この非公募を続けているわけですけども、次の選定評価委員会の中では、公募という形で審査をいただいて、5年間の通常の期間に戻しまして、公募させていただいて、よりよい施設にしていきたいと。

その公募に当たって、我々の今の考え方をご説明いたしますと、私どものほうで、今、指定事業で農業体験教室など広くやっているわけですけども、そのうちの一部分、市が考えて何かをやるとなったときに、自分で言うのもなんですけど、少し柔軟な発想に

欠ける部分もありますので、民間のアイデアをいただきながらやりたいと。今、私どもが指定事業として必須事業として出しているものを少し縮める形で、かわりに民間のノウハウで何か農とのふれあいが充実するような事業提案を受け付けようと考えております。

以上です。

【部会長】 今の説明、私なりに理解すると、向かうところは事業年度を5年間にし、民間活用の公募形式に変更する予定というか、見通しのもと、来年1年度は、30年度は……。

【時田農政センター所長】 今走っている今年度。

【部会長】 今年度ですよ。今年度は1年だけ単年度という流れできていると。

【時田農政センター所長】 そうです。

【部会長】 今年度の1年間でのそういうあり方を検討する観点からいうと、何か特別なことを今年度は試みるんですか。それとも、2年で間に合わなかったから1年だけ、また延ばしたというのがほんとのところなんですかね。

【時田農政センター所長】 ほんとのところですよ。今評価をしていただいている28、29、この2年間で結論を出して、新たな管理を始めようと思っていたところ、その2年間で結論が出なかったのが1年延ばさせていただいて、我々のほうは現時点で1年延ばしていただいたうちの数カ月が過ぎたところですけども、これまでの2年間の検討を含めて、答えはある一定レベル出させていただいて、自主事業の自由度を上げて、指定管理に持っていこうと考えているということです。

【部会長】 わかりました。

【副部会長】 ということは、来年からの5年間にどういう民間の企業のアイデアが出るかを、この9月ですか。

【時田農政センター所長】 9月に審査いただこうと。

【副部会長】 審査のときに競ってみようという方向性ができたと。

【時田農政センター所長】 そうです。

【副部会長】 それってやっぱり、出てこないとわからないということですね。

【時田農政センター所長】 出てこないとわからないです。

【副部会長】 ほかの都道府県でこういうアイデアがあったよということで考える、こういうことを提案してくるんじゃないかということを期待されているということでもない？

【時田農政センター所長】 他県においても若干、我々のふるさと農園に似たような形の施設はございますけれども、それを参考にするといいますより、我々としては今、募集要項そのものを検討して、募集要項を7月にご審査いただくわけですけども、そんな中で募集要項を決めて、世間に公募して何が上がってくるかということですよ。ふるさと農園とほんとに同じような施設を持っているところというのは少ないと思います。

【部会長】 ほかにご意見等いただいて、それで、いただいた意見をまとめて、修正意見になるのか、それとも、このままになるのかわかりませんが、そういう仕組

みで一旦、委員会の意見を確定させて、次の議題に移りたいと思っているんですけども、ご発言はどうですか、これでよろしいですか。

じゃあ、ご発言がなければ、ただいまの、意見と言えるかどうかわかりませんが、事務局で取りまとめていただくということで、しばらく休憩になるんですけども、時間はどのぐらい見ればよろしいでしょうか。

【石出農政課長】 お示した意見案で、このとおり休憩後講評することになりますので、トイレをとるぐらいの時間でよろしいでしょうか。

【部会長】 じゃあ、どうしましょう。5分後ぐらい、2時20分から再開ということで進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(休 憩)

【石出農政課長】 それでは、取りまとめた意見案をご説明いたします。意見等が特になかったということで、事務局案を再度申し上げます。年度評価におきましては、利用者からも概ね好評で、事業計画どおりに管理運営が行われている。今後とも適正な施設管理に努められたい。

以上の案でございます。

また、総合評価においては、適正な施設管理を行い、市民に農とのふれあいの機会を提供できていると言える。その上で、更なる農とのふれあいの機会の充実について、その方法を十分に検討されたいという意見。年度評価及び総合評価でございます。よろしくお願いいたします。

【部会長】 ご用意いただいた意見案を当委員会の意見ということで、改めてお諮りしますが、この意見につきましてご発言ございましたらお願いいたします。

ないようでございますので、ふるさと農園における指定管理者による施設の管理運営に関し、当部会における意見としては、ただいまのとおり決定してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【部会長】 それでは、この旨、決定いたします。なお、事務局におかれましては、今回、部会から出された意見を十分参考にし、指定管理者選定準備を行っていただきませうお願いいたします。

ふるさと農園については以上です。

続きまして、議題(2)、(3)、(4)、(5)、富田さとにわ耕園(富田都市農業交流センター)、下田農業ふれあい館(下田都市農業交流センター)、中田やつ耕園(中田都市農業交流センター)、乳牛育成牧場における指定管理者年度評価に関する事項についてに入ります。

事務局より説明をお願いいたします。

【時田農政センター所長】 まず、富田さとにわ耕園からご説明いたします。資料2をお願いいたします。2の中の富田1の平成29年度指定管理者年度評価シートです。

1の公の施設の基本情報ですが、施設名称は富田さとにわ耕園、条例上は千葉市富田都市農業交流センターです。条例上の設置目的は、都市部と農村部の交流を図るとともに、農業を振興することにより、地域の活性化に寄与することとしております。ビジョン、ミッション、制度導入により見込まれる効果は記載のとおりです。成果指標は来場

者数と研修室稼働率で、数値目標は来場者数年間 11 万人、研修室稼働率は 20%です。

2 の指定管理者の基本情報ですが、指定管理者名は富田町管理運営組合。指定期間は平成 29 年 4 月 1 日から 34 年 3 月 31 日までの 5 年間。選定方法は非公募で、理由は記載のとおりでございます。管理運営費の財源は指定管理料及び研修室の利用料金収入となっております。

3 の管理運営の成果・実績ですが、平成 29 年度来場者数は 12 万 4,320 人、達成率 113.0%、研修室稼働率は 18.6%で、達成率 93.0%となっております。

2 ページをお願いいたします。4 の収支状況ですが、平成 29 年度の実績額のみご説明いたします。

(1) 必須業務収支状況ですが、アの収入は指定管理料 3,101 万 3,000 円、利用料金収入 29 万 1,000 円、その他収入 4 万 7,000 円、合計 3,135 万 1,000 円です。イの支出ですが、人件費が 751 万 5,000 円、事務費 387 万 1,000 円、管理費 1,938 万 2,000 円、合計 3,076 万 8,000 円です。実績と計画の差異の主な要因ですけれども、人件費につきましては、シバザクラの見ごろの時期に職員を増員して対応したことなどによる増。管理費につきましては、植栽・園内維持管理経費が削減をされたことによるものでございます。

3 ページをお願いいたします。(2) 自主事業収支状況ですが、アの収入は自主事業収入 520 万 4,000 円。イの支出は人件費が 13 万 6,000 円、事務費が 57 万 5,000 円、委託費が 297 万 4,000 円で、合計 368 万 5,000 円です。

(3) 収支状況ですが、総収入は 3,655 万 5,000 円。総支出は 3,445 万 3,000 円。収支は 210 万 2,000 円の黒字となっております。

5 の管理運営状況の評価の (1) から (3) については、後ほどご説明いたします。

4 ページをお願いいたします。最も下のほうにあります選定評価委員会での意見を踏まえた対応ですが、概ね事業計画どおりの事業運営が行われている。今後とも施設の P R を行い、利用者増に努められたいというご意見をいただいておりますので、ホームページやチラシの配布などによりまして施設 P R を実施し、来場者数の増加を図ってまいりました。

5 ページをお願いいたします。6 の利用者ニーズ・満足度等の把握につきましては記載のとおりで、アンケート調査で 111 件の回答をいただきまして、利用者より概ね好評をいただいているような状況です。

次に、先ほど飛ばしました 5 の管理運営状況の評価の (1) から (3) につきましては、富田 2 の対照一覧表を使ってご説明いたします。

富田 2 の 1 ページをお願いいたします。5 の (1) 管理運営による成果・実績についてですが、すいません、お配りした資料そのものが間違っていて、来場者 1 万 1,000 人とありますが、申しわけございません、これは 11 万人の誤りでございます。資料の訂正をお願いいたします。来場者数につきましては、11 万人の目標に対し 12 万 4,320 人の利用がありまして、達成率は 113%でしたので市の評価を B といたしました。

研修室稼働率につきましては、20%の目標に対して 18.6%ということで、達成率 93% でしたので市の評価を C といたしました。

次に、5の(2)市の施設管理経費縮減への寄与についてですけれども、指定管理料は提案額から5%以上減少はしておりますものの、年度ごとに社会経済情勢等を鑑み減額をしたものでして、指定管理者の努力によって削減されたとは言いがたいことから評価内容には当てはめず、評価をCといたしました。

5の(3)管理運営の履行状況ですが、各評価項目について年に2回モニタリングを行った結果を、右側の網かけをしてある部分にモニタリング項目の確認結果として記載しております。各項目についてモニタリングの確認結果を申し上げますと、1の市民の平等利用の確保・施設の適正管理については1ページから2ページにわたりまして評価項目が6項目ございます。モニタリングの結果は記載のとおり全て○で、年間点数の平均値がゼロでありますことから市の評価をCとしております。3ページから7ページにわたりまして記載をしております各項目につきましても、モニタリングの評価は全て○、市の評価は全てCといたしております。

8ページをお願いいたします。7の総括ですけれども、(1)指定管理者による自己評価は、総括評価をCとした上で、所見といたしまして、施設運営業務・施設維持管理業務については事業計画どおり実施をした。自主事業については農業体験農園、収穫オーナー制度など、全体的に充実した実施内容であった。地元野菜の販売等を含め、来場者サービス・交流面等に寄与した。今後も利用者の視点で関係機関と連携をとりながら整備に努めたいとされております。

次に、(2)市による評価ですが、右下右側のほうの集計をご覧ください。先ほど対照一覧表でご説明をした各項目の評価をまとめたものが記載してあります。評価Bが1個、評価Cが9個となりまして、左側の市による総括評価の目安における評価Cに該当しますので、総括評価をCといたしました。

所見といたしましては、施設運営業務・施設維持管理業務については概ね事業計画どおり実施されていた。植栽維持管理業務については、花畑だけでなく全体的な管理が円滑に実施されていた。来場者数は目標を超え、増加したことは評価できる。継続して来場者を獲得できるような運営を期待する。利用者から好評であることについては評価できる。今後も利用者の意見を反映した運営を期待する。以上を踏まえまして、概ね市が求める水準等に則した良好な管理運営が行われていると判断できるものの、研修室については稼働率が低いことから、研修室の存在をPRするなど稼働率向上に努められたいというふうに考えております。

これらの評価をまとめましたものが、資料戻っていただきますが、富田1の4ページの(3)管理運営の履行状況及び1枚めくっていただきまして6ページの7の総括になります。

6ページの最も下の部分、経済農政局指定管理者選定評価委員会の意見として事務局案を記載してございます。概ね事業計画どおりの事業運営が行われている。今後とも施設のPRを行い、研修室稼働率向上に努められたいとしております。

富田さんにお耕園の年度評価シートについては以上でございます。

続きまして、下田農業ふれあい館でございます。資料3をお願いいたします。資料3の下田1の平成29年度指定管理者年度評価シートです。

1の公の施設の基本情報ですが、施設名称は下田農業ふれあい館、条例上は千葉市下田都市農業交流センターです。条例上の設置目的は、都市部と農村部の交流を図るとともに、農業を振興することにより地域の活性化に寄与することとしております。ビジョン、ミッション、制度導入により見込まれる効果につきましては、平成26年度以前の選定のためございません。成果指標は利用者数としておりまして、数値目標は年間8万人です。

2の指定管理者の基本情報ですが、指定管理者名は下田ふれあい交流施設管理運営組合です。指定期間は平成25年4月1日から30年3月31日までの5年間。選定方法は非公募で、理由は記載のとおりでございます。管理運営費の財源は指定管理料です。

3の管理運営の成果・実績ですが、平成29年度の利用者数6万9,676人、達成率は87.1%となっております。

2ページをお願いいたします。4の収支状況ですが、平成29年度の実績額のみご説明します。

(1) 必須業務収支状況、アの収入は指定管理料897万9,000円、その他収入6万6,000円、合計904万5,000円です。イの支出は人件費が523万7,000円、事務費179万4,000円、管理費160万9,000円、合計864万円です。実績と計画の差異の主な要因ですが、人件費につきましては勤務体制の変更により削減をされたものでして、管理費につきましては植栽管理経費が削減をされたことによるものです。

続いて、3ページ、(2) 自主事業収支状況ですが、アの収入は自主事業収入9,362万1,000円、その他収入19万6,000円、合計9,381万7,000円です。イの支出ですが、人件費が1,581万5,000円、事務費が7,830万3,000円で、合計9,411万8,000円です。

(3) 収支状況ですが、総収入は1億286万2,000円。総支出は1億275万8,000円。収支につきましては10万4,000円の黒字となっております。

5の管理運営状況の評価の(1)から(3)については、また後ほど説明させていただきます。

4ページをお願いいたします。最も下の部分ですが、選定評価委員会での意見を踏まえた対応ですが、さらなる利用者ニーズの把握を行い、利用者増に努められたいとのご意見をいただいておりますので、アンケートの実施などで利用者ニーズを把握いたしまして、いただいた意見を参考に店内の装飾、また、レストランでの使用野菜の表示等を行いました。また、利用者の要望に答えられるよう、品揃えの充実を図ったところでございます。

5ページに移りますが、6の利用者ニーズ・満足度等の把握につきましては記載のとおりで、アンケート調査で444件の回答をいただきまして、利用者からは概ね好評をいただいている状況です。

次に、先ほど飛ばしました5の管理運営状況の評価についてですが、下田2のA3のものを使って説明をさせていただきます。

1ページ目ですが、初めに、5の(1)管理運営による成果・実績ですが、利用者数8万人の目標に対しまして6万9,676人の利用ということで、達成率は87.1%。評価の内容に当てはめ、市の評価をCといたしました。

次に、5の(2)市の施設管理経費縮減への寄与につきましては、指定管理料は提案額から10%以上減少しているものの、年度ごとに社会経済情勢等を鑑み減額をしたもので、指定管理者の努力によって削減されたとは言えないことから評価内容には当てはめず、評価をCといたしました。

5の(3)管理運営の履行状況ですけれども、右側の網かけをしてあるモニタリング項目の確認結果欄にそれぞれ記載をしています。1の市民の平等利用の確保・施設の適正管理につきましては、1ページから2ページにわたって評価対象となる項目が5項目ございまして、モニタリングの結果は記載のとおり全て○ということで、年間点数の平均値がゼロであることから2ページの中段右側、市の評価をCとしました。3ページから7ページにわたりまして記載をしております各項目についても、モニタリングの評価は全て○、市の評価を全てCとしております。

8ページをお願いいたします。7の総括ですが、(1)指定管理者による自己評価は、総括評価をCとした上で、所見といたしましては、施設維持管理業務については事業計画どおり実施した。自主事業については農産物直売所とレストランの運営のほか、家族お米作り体験や収穫祭などのイベント等を実施した。また、区役所での朝市やオオガハス祭りでの出店を行い、いずれも利用者に好評をいただき都市部と農村部の交流が図られた。各種イベントを実施し、集客に結びつけるためイベント内容の見直しや購買意欲を満たす店舗販売を目指す。東京情報大学と連携し、売り上げ増に対する意見交換を定期的実施し、レストランの装飾変えなどを実施した。今後も意見交換を行いながら活動を進めるとされております。

次に、(2)市による評価ですけれども、右側の集計表をごらんください。評価Cが9個となりまして、左側の市による総括評価の目安における評価Cに該当しますので、市による評価の総括評価をCといたしました。

所見といたしましては、施設維持管理業務については概ね事業計画どおり実施されていた。自主事業については農産物直売所、レストランの運営に加え、各種イベントの開催により都市部と農村部の交流が行われ、農業の振興及び地域の活性化が図られており評価できる。以上を踏まえ、概ね市が求める水準に則した良好な管理運営が行われていると判断できるが、利用者数については、昨年度に比べレストランは増加しているものの直売所は減少しておりまして、全体で見ますと減少しておりますので、千葉県産業振興財団による改善アドバイスなどを参考に、利用者増加に向けた対策や施設の認知度を上げるためのPRを今後も積極的に実施されたいというふうに考えております。

これらの評価をまとめたものが、戻っていただきまして下田1の4ページの管理運営の履行状況及び6ページの7の総括となります。

6ページの最下段ですけれども、選定評価委員会の意見として事務局案を記載してございます。概ね事業計画どおりの事業運営が行われている。引き続き利用者ニーズの把握を行い、商品やメニュー等の充実を図り、利用者増に努められたいとしております。

下田農業ふれあい館についての説明は以上でございます。

続きまして、今度は中田やつ耕園、資料4をお願いいたします。

中田1のインデックスですが、1の公の施設の基本情報は、施設名称は中田やつ耕園、

条例上は千葉市中田都市農業交流センターです。条例上の設置目的は、都市部と農村部の交流を図るとともに、農業を振興することにより、地域の活性化に寄与することとしております。ビジョン、ミッション、制度導入により見込まれる効果については、平成26年度以前の選定のためこちらもございます。成果指標は利用者数と市民農園契約区画数で、数値目標は利用者数年間1万5,000人、契約区画数は318区画です。

2の指定管理者の基本情報ですが、指定管理者名は中田市民農園管理運営組合。指定期間は平成27年4月1日から32年3月31日までの5年間。選定方法は非公募で、理由は記載のとおりです。管理運営経費の財源は指定管理料及び市民農園の利用料金収入です。

3の管理運営の成果・実績ですけれども、平成29年度の利用者数は1万6,957人、達成率は113.0%、市民農園の契約区画数は286区画で、達成率89.9%です。

めくっていただきまして、2ページをお願いいたします。4の収支状況ですけれども、29年度の実績額のみのご説明とさせていただきます。

(1) 必須業務収支状況ですが、アの収入は指定管理料1,313万1,000円、利用料金収入407万4,000円、その他収入2万7,000円、合計1,723万2,000円です。イの支出ですけれども、人件費が608万円、事務費が239万4,000円、管理費799万3,000円、合計1,646万7,000円です。実績と計画の差異の主な要因ですけれども、事務費につきましては消費税、リース代の削減、管理費につきましては植栽・園内維持管理経費が増となったことによるものです。

3ページをお願いいたします。(2) 自主事業収支状況ですが、アの収入は自主事業収入210万1,000円、その他収入1,000円、合計210万2,000円です。イの支出ですが、人件費34万円、事務費19万8,000円、事業費83万円で、合計136万8,000円です。

(3) の収支状況ですが、総収入は1,933万4,000円、総支出は1,783万5,000円、収支は149万9,000円の黒字となっております。

5の管理運営状況の評価の(1)から(3)については、後ほどご説明をさせていただきます。

めくっていただいて、4ページをお願いいたします。最も下の部分ですけれども、選定評価委員会での意見を踏まえた対応ですが、概ね事業計画どおりの事業運営が行われている。今後とも施設のPRを行い、市民農園契約数の増加に努められたいとの意見をいただいております。ホームページやチラシの配布によりまして施設のPRを実施し、利用者数の増加に努めたところでございます。

5ページですが、6の利用者ニーズ・満足度等の把握につきましては記載のとおりで、アンケート調査で482件の回答をいただきまして、利用者からは概ね好評をいただいている状況です。

次に、先ほど飛ばしました管理運営状況の評価について、中田2の対照一覧表を使って説明をさせていただきます。

5の(1) 管理運営による成果・実績ですが、利用者数につきましては1万5,000人の目標に対し1万6,957人の利用があり、達成率113%でしたので市の評価をBといたしました。市民農園の契約区画数については、318区画の目標に対し286区画で、達成

率は 89.9%でしたので市の評価をCといたしました。

次に、5の(2)市の指定管理経費の縮減への寄与についてですが、指定管理料は提案額から10%以上減少しているものの、年度ごとに社会情勢等を鑑み減額をしたもので、指定管理者の努力によって削減されたとは言いがたいことから評価内容には当てはめず、評価をCとしました。

5の(3)管理運営の履行状況ですが、各評価項目について年に2回のモニタリングを行った結果を右側の網かけをしてあるモニタリング項目の確認結果欄に記載しております。1の市民の平等利用の確保・施設の適正管理については、1ページから2ページにわたりまして評価項目が6項目ありまして、モニタリングの結果は記載のとおり全て○で、年間点数の平均値がゼロでありますことから市の評価をCといたしました。3ページから7ページにわたって記載しております各項目についてもモニタリングの評価は全て○、市の評価は全てCといたしました。

8ページをお願いいたします。7の総括ですが、(1)指定管理者による自己評価は、総括評価をCとした上で、所見といたしまして、施設運営業務・施設維持管理業務については事業計画どおり実施した。市民農園の契約区画数が目標区画数の89.9%にとどまり、昨年度より若干低減していることから、今後とも利用率の増加に努める。自主事業については、市民農園利用者のニーズに沿った農業資材の提供と栽培講習会を実施した。また、秋の感謝祭にてサツマイモの収穫体験を実施し、好評をいただいた。農園利用者と管理組合で実行委員会をつくり、展示や野菜の品評会、野菜の直売などのイベントを実施し、都市部と農村部の交流を図った。市民対象の収穫体験やバラの講演会を実施し、好評をいただいた。今後も利用者の視点に基づき、整備等に努めるとされております。

次に、(2)市による評価ですが、右側の集計表で評価Bが1個、評価Cが9個となりまして、市による総括評価の目安における評価Cに該当しますので、総括評価をCといたしました。

所見といたしましては、施設運営業務・施設維持管理業務については概ね事業計画どおり実施されていた。自主事業については、農園利用者への資機材の提供や栽培講習会実施のほか、利用者と協同でのイベント実施、市民対象の収穫体験やバラの講習会を行い、積極的に施設をPRしたことは評価できる。利用者数については、目標を達成したことについて評価できる。対応についても適切に対応しており、今後も継続するよう期待する。以上を踏まえまして、概ね市が求める水準等に則した良好な管理運営が行われていると判断できるものの、市民農園につきましては、今後も広くPRするなど利用区画数の増加に努められたいと考えています。

これらの評価をまとめたものが、戻っていただいて中田1の4ページの(3)管理運営の履行状況及び1枚めくっていただいた7ページの7の総括になります。

7ページの最下段ですけれども、選定評価委員会の意見として事務局案を記載してございます。概ね事業計画どおりの事業運営が行われている。今後とも施設のPRを行い、市民農園契約区画数の増に努められたいとしております。

中田やつ耕園については以上です。

引き続き、乳牛育成牧場については農業生産振興課長のほうから説明させますのでよ

ろしくお願いいたします。

【圓城寺農業生産振興課長】 農業生産振興課の圓城寺です。よろしくお願いいたします。座って説明をさせていただきます。乳牛育成牧場についてご説明いたします。牧場につきましては、前指定期間の最終年度となる 29 年度の年度評価となります。

資料 5 をお願いいたします。初めにご報告がございます。インデックス牧場 2 の 5 ページ、中段の評価項目、②自主事業の効果的な実施の管理運営の基準につきまして記載漏れがあったため、本日の机上配付資料において修正させていただいております。申しわけございません。なお、評価案等への影響はないことを報告させていただきます。

それでは、お戻りいただきまして、インデックス牧場 1 の平成 29 年度指定管理者年度評価シートをお願いいたします。

1 の公の施設の基本情報ですが、施設名称は千葉市乳牛育成牧場です。条例上の設置目的は、酪農の健全な発展を図るとともに市民の休養に資することを目的としております。ビジョン、ミッション、制度導入により見込まれる効果は、平成 26 年度以前の選定のため設定しておりません。成果指標は期末預託頭数で、数値目標は 90 頭です。

2 の指定管理者の基本情報ですが、指定管理者名は千葉酪農農業協同組合です。指定期間は平成 27 年 4 月 1 日から 30 年 3 月 31 日までの 3 年間です。選定方法は非公募です。非公募の理由は記載のとおりです。管理運営費の財源は指定管理料です。

3 の管理運営の成果・実績ですが、平成 29 年度の期末預託頭数は 98 頭で、達成率 108.9%となっております。

2 ページをお願いいたします。4 の収支状況は、平成 29 年度の実績額のみご説明いたします。

(1) 必須業務収支状況、アの収入は指定管理料 3,500 万円、その他収入 1,850 万円、合計 5,350 万円です。実績と計画の差異の要因は、預託頭数が増えたためです。イの支出は人件費 3,023 万 7,000 円、事務費 52 万 8,000 円、管理費 2,678 万 3,000 円、合計 5,754 万 8,000 円です。実績と計画の差異の要因は、人件費につきましては牛の管理・防疫に必要な人員配置による増、事務費、管理費につきましては消耗品等の削減によるものです。

3 ページをお願いいたします。(2) 自主事業収支状況ですが、アの収入は自主事業収入 2,144 万円です。イの支出は人件費 1,058 万 9,000 円、事務費 1,000 円、管理費 1,309 万 8,000 円、合計 2,368 万 8,000 円です。

(3) 収支状況ですが、必須業務と自主事業を合わせた総収入は 7,494 万円、総支出は 8,123 万 6,000 円、収支は 629 万 6,000 円のマイナスとなっております。

5 の管理運営状況の評価の (1) から (3) ですが、こちらについては後ほどご説明いたします。

5 ページをお願いいたします。(4) 選定評価委員会での意見を踏まえた対応ですが、人件費等、支出額が計画額を超過しているため、支出削減による経営の改善に努められたいとのご意見をいただき、事務費・管理費につきましては経費削減に努めました。人件費につきましては計画時に人員配置の見直しを行いました。管理・防疫上の理由により、削減には至りませんでした。

6の利用者ニーズ・満足度等の把握についてです。(1)指定管理者が行ったアンケート調査ですが、調査方法は平成30年2月にアンケート用紙を送付し、利用者14名全員から回答をいただきました。利用者からは概ね好評価をいただいている状況です。

(2)市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応についてですが、1期当たりの預託頭数を増やしてほしいとの意見に対し、市有牛入牧枠を活用し預託頭数を増やしました。

次に、先ほど飛ばしました5、管理運営状況の評価の(1)から(3)についてご説明いたします。ここからはインデックス牧場2の対照一覧表を使ってご説明いたします。

初めに、5、(1)管理運営による成果・実績ですが、期末預託頭数90頭の達成に対し、実績98頭、達成率108.9%でしたので、市の評価をBといたしました。

次に5(2)市の施設管理経費削減への寄与につきましては、指定管理料と提案額が同額であることから評価をCとしました。

5(3)管理運営の履行状況ですが、各評価項目について年に2回モニタリングを行った結果を、右側に網掛けしてあるモニタリング項目の確認結果の欄に記載しております。なお事業計画書・提案書のプラス評価につきましては、非公募施設のため、ありません。

それでは、各項目についてご説明いたします。

1、市民の平等利用の確保・施設の適正管理につきましては、評価項目7項目全て事業計画書提案書のとおり実施されていることから、モニタリングの評価を○とし、2ページ中段の市の評価をCといたしました。

2、施設管理能力、(1)人的組織体制の充実については、①管理運営の執行体制について人員増となりましたが、評価項目3項目において適正な体制等が整えられていることから、モニタリングの評価を○とし、市の評価をCといたしました。

3ページをお願いいたします。

(2)施設の維持管理業務につきましては、評価項目5項目において適正に施設の維持管理が行われていることからモニタリングの評価を○とし、市の評価をCといたしました。

4ページをお願いいたします。

3、施設の効用の発揮、(1)幅広い施設利用の確保につきましては、利用料金収入がございませんので、評価項目②を除いた2項目において適正に行われていることから、モニタリングの評価を○とし、市の評価をCといたしました。

(2)利用者サービスの充実につきましては、①利用者への支援について、予定預託頭数60頭に対しまして69頭、115%の預託を行いましたので、モニタリングの評価を◎とし、その他の3項目につきましては、計画どおりの事業を行っていることから、モニタリングの評価を○としました。

市の評価につきましては、◎が1つ、○が3つのため、4項目の平均がプラス0.5になりますので、市の評価をBといたしました。

5ページをお願いいたします。

(3)施設における事業の実施につきましては、評価項目5項目において計画どおり

の事業を行っていることから、モニタリングの評価を○とし、市の評価をCとしました。

4、その他につきましては、乳牛育成牧場の業務内容が特殊なことや、専門的な知識を持つ職員に限定されていることから、評価対象外といたしました。

6 ページをお願いいたします。

7の総括についてご説明いたします。(1) 指定管理者による自己評価ですが、総括評価をBとした上で、所見としまして、預託数につきましては予定入牧数4期60頭のところ69頭の利用許可を行った。施設や公用車の老朽化が進み改修を余儀なくされているが、可能な限りの措置を講じて運営した。運営については、物価上昇や飼料代高騰など経費がかさみ厳しい状況が続く中、職員の知識や技術の向上等の企業努力や、関係機関との連携により事業を円滑に行うことができた。アンケート調査したところ、預託事業に関して利用者の評価は満足のいくものであり、今後も利用者へ育成状況等を通知するとともに、意向調査を実施することで更なる連携を図り、よりよい管理運営に努めたいと、指定管理者は考えております。

次に、(2) 市による評価ですが、右下の集計表をご覧ください。先ほどの対照一覧表でご説明した市の評価をまとめたものを記載しております。評価Bが2個、Cが6個となり、左側の「市による総括評価の目安」における評価Bの「市の評価項目の20%以上が『A』または『B』かつ市の評価項目に『D』または『E』がない」に該当しますので、(2) 市による評価の総括評価をBといたしました。所見としまして、事業報告書等が適正に処理されており、利用許可行為に対する苦情等も発生していない。利用者からは全体的によい評価を受けており、1期当たりの預託頭数増を求められる中、施設の使い方を工夫して増頭に努めている。自主事業では、生乳・子牛の売払いについて、提案額以上の収入を確保しており、適正な事業展開がなされている。以上のことから、市の水準等を上回る優れた管理運営が行われていると判断できるが、計画額に対する決算額の超過等、収支状況については改善に努められたいといたしました。

これらの評価をまとめたものが、インデックス牧場1、指定管理者年度評価シートの4ページ、(3) 管理運営の履行状況、及び6ページの総括になります。

6 ページの最下段をご覧ください。

(3) 経済農政局指定管理者選定評価委員会の意見について、事務局(案)を記載しております。内容としましては、預託頭数や自主事業において市の水準を上回る優れた管理運営が行われている。人件費について、計画に対し支出が超過しており、引き続き人員配置や作業内容について検討願いたいといたしました。

乳牛育成牧場の年度評価シートの説明については、以上となります。

事務局からの説明は以上となります。よろしくをお願いいたします。

【部会長】 4施設についての説明をいただきました。

この先ですけれども、委員からの意見をいただいて、先ほどのように事務局でまとめていただくというふうに進めていきます。この4施設についてそれぞれお伺いしますが、今いただいた説明に対して、何か質問、ご意見等がありましたら発言をお願いしますが、意見につきましては後ほど部会の意見として取りまとめますことから、意見であることを明確にして発言をください。

なお、評価シートの市の評価や委員会の意見には、あらかじめ事務局としての案が記入されておりませんが、委員会の意見を踏まえて修正することも可能となっておりますので、意見があれば理由を明確にし、ご発言ください。

ではまず1番、富田さんとわ耕園について、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

はい。

【委員】 富田と下田と中田に共通しているところですが、先ほどご説明いただいた、指定管理者年度評価シートの4ページの上の部分、市の指定管理料支出の削減のところの評価についてです。提案額と計画額の差によって下の評価の内容に当てはめて評価されていると思いますが、社会経済情勢による部分と、指定管理者の努力による部分をどのように分けられて評価なさっているのでしょうか。

【時田農政センター所長】 これは、実は計画額の段階で、一旦、市の予算としての査定を含めて額を我々のほうで抑えている部分がありまして、計画額というのは実際には業者さんから上げていただくものなんですけれども、我々の側で社会経済情勢を鑑みて予算の枠をはめております関係から、その予算の中で、そこから先、業者さんがどれだけ削減努力をしたかというのを見る項目だというふうに捉えていまして、どこまでが業者の削減努力なのか、どこまでが社会経済情勢の影響によるものなのかというのは、すみません、明確にはそこは捉えておりませんで、我々のほうで提案として一番最初にいただいた提案額そのものから予算をとりにかかって、その予算のときの判断で金額を一定レベル、抑えてる部分があります。その関係で、そこから先、事業者さんが大幅に努力をされれば、ここでいう評価のCがもっと上がると。

【委員】 提案額というのがまずあるということですね。

【時田農政センター所長】 はい。提案額というのが、まず最初にあつて。

【委員】 それは選定のときのものですか。

【時田農政センター所長】 はい、選定のときのです。

【委員】 それで、計画額というのは毎年変更されるのですか。

【時田農政センター所長】 毎年変更になります。

【委員】 その差で見てるんですね。

【時田農政センター所長】 その差ではなくて、実際にかかった指定管理料と提案額の差ですね。差を評価しろという欄なんですけれども、実際のところ、提案額そのものが……、うまく言えないですね、提案額そのものに対して、さらに我々が社会経済情勢を鑑みて、予算として若干下げた金額を提示して、その中で、ほぼほぼその計画額どおりにやられているというのが今回のこのケースです。ですので、ちょっとその辺が、気持的にはほんとうに提案額の段階からはかなりの削減がされていますので、評価を高めたいところなんですけれども、そうではなくて、我々の予算の中で見た金額とほぼ同等だったのでCという評価をさせていただいていると。そこからさらに、いわゆる民間、事業者側の努力で、大幅な削減があれば評価が上がると。

【委員】 はい。その予算の額という……。

【時田農政センター所長】 我々がこの金額、予算これだけなんですよっていうのを

お伝えして、その中……。

【委員】 その金額は明示されてないんですか。

【時田農政センター所長】 その金額は、計画額……。

【委員】 その金額が計画額ですか。

【時田農政センター所長】 ですね、はい。で、この管理経費縮減への寄与、4ページの一番上の部分については、提案額との差ということで見ろということにはなっているんですけども、それは、実際には提案額との素直な比較であれば、これでいきますと、例えば、富田についてはBになってもおかしくないんですけども……。

【委員】 そうですね。

【時田農政センター所長】 ええ。

【委員】 下田と中田では10%超えてたので、Aでもおかしくなかった。

【時田農政センター所長】 そうですね、Aでもおかしくないケースではあるんですけども、そうではなくて、我々のほうも予算の際の提示額、いわゆる、提案としてはこれだけのお金でやりますという提案があって、そこから下げてるんですけども、その間に我々のほうで判断させていただいた、社会一般的にはこのぐらいの額でいけるだろうという金額を予算として示して、その中でやられたということです。その中で、ほぼほぼそれと同額ぐらいでやられていますので、計画額から見ると……、まあ、ほとんど計画額から見ると削減割合が少ない状況なんです。

【加瀬農政部長】 仕組みをちょっと説明したほうがいいんじゃないですか、どういうふうになっているか、仕組み。

【時田農政センター所長】 やはり、明確な事業者の努力が認められない限りは、ここにはめないというような形ですね。提案は提案として、提案額をいただいて、それに対して我々のほうは我々のほうで、予算の中でこの施設を管理するのにこのぐらいの経費が妥当であろうという金額を提示して、それに基づいて、業者は計画を上げてくるんです。で、その計画額そのものは、もう、その提案額よりも今回の場合はかなり下がった金額になっていまして、年度ごとにそれを計算してまいりますので、その下がった金額から、明確に事業者さんの努力で下がったと。

【委員】 提案額よりも計画額を下げたということですね。

【時田農政センター所長】 計画よりもさらに下がったという場面では、評価の対象にすると。

【委員】 それは、実績ということですよ。

【時田農政センター所長】 そうですね、実績ということ。指定管理料の実績ということですね。

【副会長】 ちょっといいですか。指定管理者を選定する時点で、この社会経済的情勢等がかんがみる減額については表示されていなかったか。

【時田農政センター所長】 指定管理者を……。

【副会長】 選定するとき、こういうことあるよと。

【時田農政センター所長】 選定するとき……。

【副会長】 に、こういうことはあるよという。

【時田農政センター所長】 お知らせしてるかっていうことですか。

【副会長】 うん、そうそう。

【時田農政センター所長】 それはお知らせしていると思います。

【副会長】 あの中にですか。選定要項の中に書いてあるの。

【時田農政センター所長】 非公募だと、どうなってるのかな。ただ、あくまでも役所の仕事ですので、予算が前提になるというのは、それは一般的にはご理解いただけることだとは思いますが。

【副会長】 予算、毎年変更になる可能性があるよという意味ですけど、それがこういう、5年間のあれ、決めますよね、指定管理料というのを。

【時田農政センター所長】 はい。

【副会長】 それについて、それは役所との……。

【時田農政センター所長】 まあ、5年間の上限が決まるという前提ですね。

【副会長】 上限が決まるね、うん。

【加瀬農政部長】 よろしいですか。ちょっと簡単に申し上げますと、例えば、5年間ということであれば、5年間で3,000万円ですよというふうに決めた場合には、1年間当たり600万円が上限額になるわけです。しかしながら、例えばそれを決めた後に、3年後には光熱費が相当下がるとか、石油代がどうか、そういう社会情勢上の変化が起きますので、その場合には毎年毎年上限額を予算の段階でよく調整を我々がいたしまして、これはこの辺まで下げても、当然、社会情勢を見ればここまで行くだろうと、上限額まで必要ないだろうという判断をして、例えば500万円で行きましょうとやった場合、本来であれば600万円のお金でやるところを500万円で行ったので効果は出てるんですけど、あくまでも我々が比較するのは提案額と実績額ですので、この差はちょっと評価に値しないと、そういう考え方ですね。

【副会長】 考え方。ということは……。

【部会長】 というと、逆ですか。例えば評価額……、ごめんなさい、提案額と、まず評価の内容としてA、B、Cというのがありますよね。あくまでもこれは提案額と比較するんだと、つまり選定時の提案額ね。で、5%未満か10%未満か、あるいは10%以上なのかによってA、B、Cとするわけでしょう。これをそのとおりに当てはめると、5%以上の10%未満、10%以上というふうに3施設がなる……。

【加瀬農政部長】 失礼いたしました。今、提案額ではなくて、計画額と比較するということですね。失礼いたしました。

【部会長】 いや、そうなんですよ。で、そこで評価はどういうふうにするかということで、この市の評価の欄の下に、評価の内容として、いわゆる当てはめといいますか、目安的なものとして5%未満、10%未満、10%以上というふうに、提案額と比較しなさいよと。となると、それぞれA、B、Bというふうになるはずなのに、Cとなった理由がどう考えても社会経済情勢等を鑑みという言葉なんですけれども、そういうふうに当てはめといいますか、目安を離れてこういう評価をした、評価をすることができるのかどうなのか、評価したのはどうしてなのかということあたりを説明いただきたい。

【時田農政センター所長】 実は、これは私どものほうも、素直にこの表をこのとお

り読むと、今、委員長さんのおっしゃったとおりなんです。我々もそれで評価をすべきなのかなと思って、市全体の、この指定管理の業務を業務改革推進課のほうでやってるんですけども、そこに問い合わせをした答えとしてですね、指定管理の、この業者さんのほうで、明確に、ここをこう落とした、業者の努力で落としたという部分がない限りは、素直にこれにはめっちゃいかんという答えをいただいています、そこには予算で示した、私どものほうが標準的にこの施設を管理するのにかかるであろう費用の額から判断をしろということなので、少し、この記述と評価の仕方がずれがありますので、それは今後の検討材料として、ちょっと業務改革推進課のほうには伝えたいと思います。

【副部長】 先ほど農政部長さんがおっしゃったように、社会経済情勢を、これはこういうふうになったよということを説明できるのかどうかというところにあると思うんですよ。

【部長】 だからね、社会経済情勢等という言葉は、結局、年度単位の計画額というふう置きかえれば、それはみんなほぼゼロに近い5%未満に収まるからCでいいんだろうけれども、それが言葉としては「社会経済情勢等を鑑み」なんだけど、評価額と……、提案額、じゃない、計画額と比較してCであるという結論になっていくと思うんですよ。そこでみんな、独自の企業努力的なものを認められない限りはCなんだという、このあたりが、それもまた1つの右へならえなんだろうけども、どうしてそういうふうに出てくるのか、機会があれば調べていただいて、報告いただきたいと思います。

【加瀬農政部長】 わかりました。

【時田農政センター所長】 提案時の予算額の積算が、あまり緻密なものではないというような判断があるのかもしれない。

【部長】 ただ、あくまでも目安、評価内容は提案額ということになっている点で、ちょっと……。

【時田農政センター所長】 ええ。この表記についても含め、少し業務改革推進課のほうに確認をとってみたいと思います。

【部長】 今、4施設についての、富田についての意見を伺ってるんですけども、今のように共通の意見、あるいは、どれというふうに特定しないで、それぞれの施設について、順不同で、ご意見があれば伺います。

【副部長】 よろしいですか。

乳牛育成牧場の件で、牧場1の6ページですかね、経済農政局指定管理者選定評価委員会の意見として、人件費について計画に対して支出が超過しておりという、この文面ですけども、人員配置や作業内容について検討願いたいということは、次期以降というのは今期30年度、これはどういう意味として把握したらいいか……。

【圓城寺農業生産振興課長】 30、31年、指定管理が始まっておりますけれども、人員配置を見直しまして、30年度からは8人体制ということで計画するよう、体制として見直しをしております。

【副部長】 ということは、予算内に収まるような形になるという見通しを話し合ってるという。

【圓城寺農業生産振興課長】 はい、そうです。

【副部長】 ということが前提なわけですね。

【圓城寺農業生産振興課長】 はい。

【副部長】 それが実行可能であると、預託頭数が増えても実行可能であると。預託頭数が減少するんですか、それとも。

【圓城寺農業生産振興課長】 預託頭数につきましては年間 60 頭ということで変わりはないんですけれども、自主事業につきまして、廃止をしまして、預託に特化するような形で整理をしております。

【部長】 今の意見というか質問の趣旨、つまり年度評価するのは何でなのかというのと、今後のというか、今、もう次の年度がスタートしている、今年度に向けてのご意見ということになると思うんですけれども、どうしても評価できるときは新年度がスタートしてタイムラグがある。だからそういう意味では、前年度の結果がまとめられたこの時点でなきゃ評価しようがないので、もうスタートした新年度に向けての意見というふうに、ちょっと遅れた意見にはなるんです。それはまあ、時間的にタイムラグが生じるのは仕方がないと思うんですけれども、今の質問の趣旨は、そういう意見を踏まえたとして、達成見込みがあるのかどうなのか、もうスタートした今年度はどういう見通しなんですかというところが聞きたいところなんですよ。

【副部長】 ええ。

【部長】 それはどうなんです。もっともな意見として出すんですけれども、こういう意見を出したところで、もうスタートしている今年度は、見通し的にはどうなんですかという。

【圓城寺農業生産振興課長】 見通し的には、人件費等、かなりかかっておりますので、その経費について削減して対応しようということで考えております。

【時田農政センター所長】 あと、業務の中身のほうも前年度とは少し変わらしまして、市有牛といまして、市が持っている牛を管理するという仕事があるんですね、その部分について少し見直しをかけておりますので、適正な人員配置でできるような形に持っていこうと思っています。

【部長】 それ作業内容というような点だということで、理解していいんですね。

【時田農政センター所長】 はい。

【部長】 というような形で、4施設どれとも、順番にしませんので、どの施設についてでも、ご意見がございましたら発言をお願いいたします。

【委員】 よろしいですか。

乳牛育成牧場ですけれども、今回は 98 頭入れて 108.9% いったということですね。それで、最初の計画は何頭でしたっけ、その計画でやると 90 頭ですか。で、予算をつくっておいて、それで増やすということで、8 頭増えたら、それに対する管理というのはどうなるんですか。当然、増えているから人件費も……、当然、管理する人も増えなきゃいかんでしょうから、そうするとアルバイトか何かで雇う。そうするとプラスになってしまう。それで赤字になって、人件費を削減しろというのはどうなんでしょう。こちらの意見としてね。それで、増やしておきながら、人間のほうも管理するために増えちゃったから、預託を受ければ、それをちゃんと履行しなきゃいけないから、きちんとした

ら、そしたら人件費が増えちゃった。で、数値的には増えてる。ただ、それだけならばこの我々の意見にこれが入っているというのはちょっと気になるんですね。増やしても、とにかくプラスというか、8頭増えれば当然プラスになるわけでしょう、どうなんですか、プラスマイナスの問題は、収支。

【時田農政センター所長】 人件費そのものに対する影響というのはですね、実は我々のほうは、それほど大きくないと思っています。90頭と……。

【委員】 でも、受託すればそれだけ収入もあるわけでしょう。

【時田農政センター所長】 ええ。収入のほうは、えさ代相当を利用者からいただくという形になりますので、そこはおそらく行ってこい……。

【委員】 でも、えさ代だけじゃ牛は飼えないですよ。

【時田農政センター所長】 そうですね。

【委員】 手が要る。その、手の問題が、プラスになっちゃったから人件費を考えろという意見を言うのは、ちょっと酷な話なんじゃないですかね。

【時田農政センター所長】 ああ、委員会としては酷だということですか。

【委員】 と思うんですね。いや、それが私どもの意見ということで入っているから、それを言ってるんですけども。

【副部長】 何らかの作業の改善とか、いろいろな形をしておさめられる目安が立っているんだろうと思うんですけど、この文章だけを読むと、読んだ人はどういうことをやろうとして……、この委員会が意見として何を言おうとしてるのがわかりにくいということになるんじゃないかと思うんですけど、もう少しわかりやすい表現がないでしょうか。

【部長】 こういうことですかね、プラス評価として、預託頭数等において上回る優れた管理運営がされているというプラス評価を意見とする。一方で、そのプラス評価が出てくるゆえんとして人件費がかかっているじゃないかというのが矛盾すると、そういう意味ですか。もし私の言っている意味だとすれば、プラスとして評価はできます、だけでもマイナスとしてこういう点がありますということで、それは別に、併記することに矛盾はないような気がするんですけども、どうですかね。

矛盾するとすれば、人件費を増やしてまで頭数を増やすようなことはやめるべきであるとかって、そういうような意見になるんですか。

【委員】 預託……、特定の人に、こういう市役所の税金を使った施設に……、で使っているのは、個人的に問題があるんじゃないかというのが、昔出たように記憶してるんですけども、そうすると、これはどんどん頭数が増えていくと、ますますそれが増えていくわけですね。そうすると、こういう問題が起こってきて、もっと問題が大きくなる。人件費、まあ、当然、動物を飼えば頭数だけを……、機械化するとか何とかすればまた別ですけど、何かね。

【圓城寺農業生産振興課長】 預託については、基本的に90頭っていうのが決まっております。増えている分については、今まで市の牛を預託するのに1期当たり2頭ずつ用意していました。その部分を、空きになっているので有効に使うということで増やしています。その分、98頭ということで、今お預かりしている部分でございます。

【委員】 それは今までの管理で問題はないんですか。管理体制的に、8頭増やすっていう。

【圓城寺農業生産振興課長】 ええ、で、市の分は……。

【委員】 8頭が増えてるわけじゃないの？

【圓城寺農業生産振興課長】 市の分を……。

【委員】 市で幾ついるんですか。

【圓城寺農業生産振興課長】 1期当たり2頭ずつ。

【委員】 2頭。

【圓城寺農業生産振興課長】 はい。予定してたんですけども、その部分を酪農家さんに使っていただくということで、あけて、使っていて、98頭、今いる状態です。

【委員】 全部合計すると、今、牧場で保有している牛。

【圓城寺農業生産振興課長】 3月末で126頭です。

【委員】 それだけいるんだ。その中のやりくりしてるっていう、98というのに、その市の預託の数がいってるっていうことですね、そうすると。何か複雑な……。

【圓城寺農業生産振興課長】 そうです、はい。空きスペースをうまく利用してというところと、あとはお金の話、先ほど所長からもありましたけれども、えさ代ということで30万円いただいていますので、その中で何とかやっていたというふうな状況です。

【委員】 管理用の人件費は関係ないということですかね。

【圓城寺農業生産振興課長】 まあ、この中で見ていただいていると。

【委員】 そう理解していいんですか。

【圓城寺農業生産振興課長】 はい。

【委員】 トータルの数字は変わらないということですよ、牛の総頭数は。牧場で保有している総頭数は変わらない。ただ、市の保有頭数と預託の頭数がちょっとその中で動くという、それだけのことなんだね。そう理解していいんだよね。

【時田農政センター所長】 実は、先々といいますか、現状、今年度以降なんですけれども、市の保有している牛については、その管理を今年度中にやめようと思っていますが、総頭数は今後減らす予定です。総頭数は減らして、減らした分だけ、今度はそれに相応する指定管理料も減らさせていただきますけれども。

【委員】 理解しました。全体は同じだから、管理の人間の量も変わらないんですよね。

【副部会長】 人件費が増えるわけじゃない。

【委員】 だから、実際には増えるわけないんだけども、ただ、今回は何か、病気があったんですか、何か口蹄疫だか、何か。

【農業生産振興課職員】 具体的にあったわけではないんですけども……。

【委員】 いや、この中に書いてあるのは、何か……。

【農業生産振興課職員】 防疫上の。

【委員】 防疫上の。

【農業生産振興課職員】 そうですね。具体的に何か発生したわけではないんですけども……。

れども、近隣諸国等ではたくさんの病気が起きてますので、そこから守るために、防護というんですかね、防ぐために必要な人件費等がかかったというところですよ。消毒ですとか、石灰を撒いたりとかというような作業を行ったりします。

【部会長】 意見ではなくて質問ですけども、先ほど、この育成牧場に関して、人員配置や作業内容について検討願いたいというようなところで、新年度は何とかなるんですかというふうな質問をさせていただいたと思うんですけども、それと同じように、ほかの3施設について意見として指摘されているところの富田については、研修室稼働率向上に努められたいということなんだけれども、新年度、現実にはどうなのかという質問。中田については、総合の評価はどこ行きましたか……、市民農園契約区画数の増に努められたいということなんだけれども、新年度はどうなのか。下田については、商品メニュー等の充実を図り、利用者増に努められたいというふうに意見としてなるんですが、新年度はこれの実現見通しのものがどうなのかというところが知りたいんですけども、端的に答えていただけますか、残りの3施設。

【時田農政センター所長】 各施設とも、前段部分に書いてあること、例えば富田でいきますと、今後とも施設のPRを行いと、これは引き続き……、まあ、今までも行っていますけれども、引き続き行います。稼働率向上になるかどうか、いわゆる成果としてなるかどうかというのは、すみません、なかなか確かなお答えはできませんけれども、施設、こんな部屋がありますよというご案内は常に常にしていきたいと思っていますので、ご意見としては、委員会の意見としては、それほどふさわしくないものではないんじゃないかなと思います。

あと、その他、中田についても、これも契約区画数の増になるかといいますと、これはまた結果の話ですので、ただただ施設のPRは、イベント等を行う際、あとは他の施設、他のグリーンビレッジの2施設でも中田を案内するようなチラシをまいたりというようなこともやってまいりまして、努力はする。

下田についても、商品についてはお客さんのニーズに従って入れていくような形、あと、レストランのメニューについても工夫をしていくということですので、努める部分については確かに努められると思いますので、結果まではなかなかお約束ができませんが、やっていこうと思っています。

【部会長】 はい、どうぞ。お願いします。

【農業経営支援課職員】 すいません、中田の市民農園の契約数なんですが、一応、今日時点で287区画ありまして、昨年度の286区画を1つではございますが超えておりますので、今時点では、途中やめる方がいなければ、増えているという形で言えます。よろしくをお願いします。

【部会長】 ほかに意見、質問含めてご発言ございますでしょうか。

もしなければ、ちょっと雑駁な発言が出ましたんですけども、意見に変更なり、変更なしでも、なんとかうまく取りまとめていただきたいと思いますと思うんですが、どうでしょう。時間、どのぐらい必要とされますか。

【石出農政課長】 ちょっと検討を要したい箇所もありますので、20分いただきたいと思えます。

【部会長】 じゃあ、4時に再開ということで、お願いします。

【石出農政課長】 よろしく願いいたします。

(休 憩)

【部会長】 時間になりましたので、再開いたします。取りまとめた意見案について、事務局より説明をお願いいたします。

【石出農政課長】 それでは、施設ごとをお願いしたいと思います。

まず、富田さんにお耕園の年度評価でございますが、概ね事業計画どおりの事業運営が行われている。これまで以上に施設のPRを行い、研修室稼働率向上に努められたい。

「今後とも」という表現を変えて、「これまで以上に」という修正をいたしました。よろしくをお願いします。

【部会長】 施設単位で4つこなしていくとなりますので、今言われました富田につきましてご意見、つまり、取りまとめていただいたご意見についての委員の発言をお願いいたします。

もしないようでしたら、今取りまとめていただいた意見を当委員会の意見ということで決定させてもらってよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【部会長】 それでは、その旨を決定いたします。

では、次の施設について、お願いします。

【石出農政課長】 次に、下田農業ふれあい館でございます。年度評価です。概ね、事業計画どおりの事業運営が行われている。引き続き利用者ニーズの把握を行うとともに、施設のPRを含めさらなる商品やメニュー等の充実を図り利用者増に努められたい。

利用者ニーズの把握と商品の中に、「行う」とともに、「施設のPR」という文言を入れさせていただきまして、修正案といたします。

以上でございます。

【部会長】 ただいまの説明に対しまして、何かご意見等がございましたら、発言をお願いいたします。

ございませんようですので、中田やつ耕園につきましての指定管理者による施設の管理運営に関し、当部会における意見としてはただいまのとおり決定してよろしいでしょうか……、ごめんなさい、下田です、失礼しました。

下田農業ふれあい館についての当部会における意見としては、ただいまのとおり決定してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【部会長】 はい。では、このとおり決定いたします。

続いて、よろしくをお願いします。

【石出農政課長】 続きまして、中田やつ耕園の年度評価でございます。

概ね事業計画どおりの事業運営が行われている。これまで以上に施設のPRを行い、市民農園契約区画数の増に努められたい。

富田と同様に、「今後とも」を「これまで以上に」という表現に変えさせていただいた案でございます。よろしくをお願いします。

【部会長】 ただいまの説明に対しまして、何かご意見等がありましたら、ご発言をお願いいたします。

特にご意見がないようですので、中田やつ耕園における指定管理者による施設の管理運営に関し、当部会における意見としては、ただいまのとおり決定してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【部会長】 それでは、その旨決定いたします。

引き続き、もう1施設をお願いいたします。

【石出農政課長】 最後に、乳牛育成牧場の年度評価でございます。預託頭数や自主事業において、市の水準を上回る優れた管理運営が行われている。一方で、人件費については計画に対し支出が超過していることから、引き続き適切な人員配置や作業内容について検討願いたい。

最初の文章を関連づけるということで、「一方で」という2段書きにしております。「超過していることから、引き続き適切な」という表現を加えた修正案でございます。

以上です。

【部会長】 ただいまの説明に対しまして、何かご意見等がございましたら、発言をお願いいたします。

特に発言がないようですので、千葉市乳牛育成牧場における指定管理者による施設の管理運営に関し、当部会における意見としてはただいまのとおり決定してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【部会長】 それでは、その旨決定いたします。

富田さとにわ耕園、下田農業ふれあい館、中田やつ耕園、乳牛育成牧場については、以上です。

なお、本日部会として決定いたしました意見の文書の整文等につきましては、私にご一任願います。

以上をもちまして、平成30年度第1回千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会農政部会を閉会いたします。

— 了 —